

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		一般小売店〔紙類〕 （経営者）	・実際に買わないまでも、店に寄って眺めていく観光客が増えてきた。客の流れが出来てきたようである。
		スナック（経営者）	・大企業や自動車産業などは、今まで経費を節約してきた分、これから予算に余裕が出てくるため、だんだん良くなる。
		テーマパーク（業務担当）	・春季イベント期間による動員効果を期待している。また高速道路通行料金の引き下げ効果などもプラス要素となる。
	変わらない	テーマパーク（広報担当）	・高速道路の低料金化が実現すれば、観光関係の業界は改善されてくる。
		商店街（代表者）	・入学・進学シーズンになるが、ムードが悪すぎる。
		百貨店（販売促進担当）	・3～5月は新生活のスタート等で売上の上がる時期であり、期待はしているが、現状の景気動向を見ると強気にはなれず、期待を込めても現状維持程度である。
		スーパー（経理担当）	・自動車工場が多い地域であり、そろそろ生産が上向くのではないかという話がある。
		スーパー（管理担当）	・景気回復の見通しがまったく立たない。プライベートブランド商品など単価の低いものの購入が多いため、売上の増加も見込めない。
		スーパー（販売担当）	・収入の変動に左右されない客が多いので、変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・3月にはキャンペーンを打つので、この効果が期待できるが、他社との競合は厳しくなるだろうから、状況は今とあまり変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・去年から引き続いて、人の流れが良くなる要因が見えない。
		衣料品専門店（店長）	・景気が悪い悪いと言われることで、客は先行き不安になっており、必要なものしか買っていかない。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・景気の流れから考えても、ここ数か月は辛抱の期間となる。
		家電量販店（予算担当）	・客の財布のひもが固い状況が続いており、購買動向からしても、今しばらくは景気の悪化傾向が続く。
		自動車備品販売店（経営者）	・景気対策の高速道路料金割引に伴うETC等の売上増には期待するが、来店時の客の慎重さからすると、現在の基調は変わらない。
		その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	・店舗の接客スピードの改善、プロモーションに期待できる。
		観光型ホテル（経理総務担当）	・官公庁や各種団体の定例となっている宴会は入ってきているが、民間企業からの予約は相変わらず低調である。宿泊予約も現時点では例年並みである。
		都市型ホテル（総務担当）	・例年は花の時期なので、ある程度の来客数が見込めるはずだが、外国人の国内旅行はチャーター便の客がどの程度確保できるか不確定要素が強く、苦戦している。ゴールデンウィークの家族での来客も苦戦が予想され、期待した伸びはまず見込めない。
		タクシー運転手	・3月に人の動きがあり、イベントもあるのだが、歓送迎会などに伴う飲食店街の動きが去年ぐらいから非常に悪くなっており、あまり多くを期待できない。
設計事務所（経営者）	・春になり暖かくなってくると人の動きも出てきて、景気も動くのではとの期待感はあるが、選挙時期もからんでくるので、あまり良くなるとは思えない。		
住宅販売会社（経理担当）	・3月は不動産が動く時期ではあるが、長続きはしないとされる。雇用の悪化や先行き不透明感が顧客の購買意欲を低下させ、更に待てば値引きするという感覚になっている。		
やや悪くなる	商店街（代表者）	・購買金額、数量共に低下しており、今後3か月の間に現状から回復するとも感じられない。地方の中心市街地の現状からは、現状維持が精一杯である。	
	一般小売店〔酒店〕 （経営者）	・ハイブリッドカーの投入や円安で自動車産業が好転する兆しもあるが、小さな地方の町には、そのプラスの影響は出てこない。大学入学者数の減少で、学生向けマンションの空室も増加しており、厳しい状況になる。	
	一般小売店〔印章〕 （営業担当）	・以前の不況時には、企業の中には新規事業などで状況を打開しようとする動きがあったが、今回はそのような動きは一切ない。その余裕もないようだ。	

百貨店（営業担当）	・企業の解雇、再編がこれから多くなり、年金生活者も含めていよいよ必要なもの以外買わなくなり、更に消費は冷え込んでいく。
百貨店（営業担当）	・雇用や社会保障に対する不安材料が、消費に悪影響を及ぼしている。
百貨店（営業担当）	・4月に競合の商業施設ができたり、球場が移転したりしてマイナス要因があるが、売上が上がるようなトピックスが無い。
百貨店（電算担当）	・売上が前年比2けたマイナスで低調であり、この基調が続く。ただし市がプレミアム商品券を発行する予定であり、消費が刺激されることが期待できる。
百貨店（販売担当）	・客の消費マインドはいよいよ冷え込んでいる。地元企業の派遣切りなどの報道により、買い控えなどの傾向がますます強くなる。
スーパー（店長）	・従業員の削減や、労働時間減による収入減など、これから景気を悪くする要因がいたるところに見受けられる。
スーパー（店長）	・来客数の伸びが見られなくなってきた。また今までは前年比で増加傾向にあった客単価が、やや前年を切るようになってきた。
スーパー（店長）	・車による来客数がいちじるしく減少しており、現在進行している駅前再開発が完了しない限り、元に戻ることは難しい。
コンビニ（エリア担当）	・競合店や異業種の店舗の使い分けを行っており、必要なものしか買わない傾向がいよいよ強くなる。
衣料品専門店（販売促進担当）	・景気悪化で給料自体が下がっているという話が多く、衝動買いなど無駄使いをしなくなっているため、今後も良くならない。
家電量販店（店員）	・現状はそれほど感じないが、悪いニュースばかり流れているので、これから我々販売店の方にも影響が出る。
乗用車販売店（経営者）	・春闘の時期だが、組合の要求がとおるところか、むしろ賃金は引き下げられそうだ。また業績の悪化、不況などのニュースばかり流すので、消費マインドはいよいよ悪化していく。
乗用車販売店（統括）	・3月は1年の内で最も販売量が多い月だが、10月からの販売量の推移を見ると大変厳しい状況となる。
乗用車販売店（統括）	・週休3日や4日、リストラなどの話を良く聞くようになり、これから良くなる要素がない。
その他専門店〔布地〕（経営者）	・悪い状態が続くが、予算が可決され、定額給付金が出れば、少しは消費が刺激される。
その他専門店〔カメラ〕（店長）	・メディア等の報道により市場心理の冷え込みが考えられるので、若干悪くなる。
高級レストラン（スタッフ）	・ここ3か月ばかりの予約を見ると、多少波はあるものの、前年に比べて減少している。
観光型ホテル（スタッフ）	・春の行楽シーズンになるが、現在の状況からすると、予約もあまり伸びない。
都市型ホテル（経営者）	・客室予約率は前年同期と比較して、5%以上悪化している。
タクシー運転手	・良い話はないが、客の間から3～4月に自動車メーカーが生産台数を増やすとか、仕事が忙しいと言う話が聞こえてくることもある。これから年度末に向けて本来なら忙しい時期になるが、収入減少はまぬがれない。
通信会社（社員）	・景気が悪くなっている業種の影響が、他へ波及する。
通信会社（総務担当）	・解約数は高水準にあり、景気悪化のなか、更に増加することが懸念される。
テーマパーク（管理担当）	・全体的に客の動きが鈍くなっている。
美容室（経営者）	・色々手は打っているが、先の見えない状態にある。
設計事務所（経営者）	・同業他社の受注減、客の収入減、仕事量の減少など回復の光が見えない。
設計事務所（経営者）	・受注単価、受注総額共に下がる一方であり、好転の要素がない。3月末が大きな分岐点になりそうである。
住宅販売会社（販売担当）	・住宅展示場、イベント、売出しへの来客数が前年比で激減しており、今後の受注に大きく影響する。
悪くなる 商店街（代表者）	・100年に一度の大不況とのマスコミの報道を、客はレストラン等により実感している。経済対策を打つといってもまだその効果は出ていないし、効果があるかも不安であり、先行きへの不安が客にもありありと見て取れる。ぎりぎりの営業を続けている。

商店街（代表者）	・客の会話も、取引先との話題も不景気な話ばかりであり、商店街も空き店舗が前よりも増えてきて、先行きが見えない。
一般小売店〔茶〕（経営者）	・役員を務めている経済団体の会合に出るが、一部、輸入関係が良いだけで、工業関係を中心にひどい状況である。いつ私たちの業界にこの悪い影響が波及するか不安である。
一般小売店（営業）	・とにかく明るい話題が少なく、先の見えない状況では良くなるという期待が持てない。以前から地方は疲弊しており、暗い毎日が続く。
百貨店（売場担当）	・2月に入り、テナントの衣料品問屋や洋菓子メーカーの倒産が相次ぎ、売場に穴があいている状態が続いている。今後も販促費や人件費の削減が予測されており、売上が上向くとは考えられない。
スーパー（店長）	・大手の大型販売店出店が2店舗ある。地場の小売の販売不振が続く。
スーパー（総務担当）	・近隣の工場でも休業日が増え、従業員の手取り賃金が減っており、また、「あの会社が危ない」等の話が家庭でもささやかれている。さらに、買い上げ点数が減っており、先の好転が期待できる状況にない。
スーパー（財務担当）	・雇用環境の悪化及び収入減等により、買い控えと低価格志向がますます強まる。
スーパー（経営企画）	・客、従業員や取引先から、週休5日とか週休6日になった会社や人がいるという話を良く聞くようになった。
コンビニ（エリア担当）	・デフレの傾向が進み、リストラや給料カットを進める企業が増える。
衣料品専門店（経営者）	・春物商品の案内に、客の反応が大変悪い。
衣料品専門店（地域ブロック長）	・量販店が当社をターゲットにした低価格施策を打ち出しており、苦戦を強いられる。
家電量販店（店長）	・販売量減少、販売単価低下、来客数も非常に減少している状態のなか、先行きが思いやられる。
家電量販店（店長）	・競合他社の出店もあり、また地元の大手事業所の低調さと重なって非常に厳しくなる。
家電量販店（店長）	・景気の後退により、今後は消費動向に本格的に影響が出ると思われる。特に高額商品のクレジットによる分割購入が減ってきており、客が先行きを不安視している傾向がある。
乗用車販売店（販売担当）	・1～3月は、例年、販売が増える月であるにもかかわらず、販売の伸びはほとんど見受けられない。3月が終われば、更に悪化する。
住関連専門店（広告企画担当）	・買い控えが進んでいるのにあわせて、一度止まったように思えた単価の低下が、また始まっている。
その他専門店〔書籍〕（従業員）	・業界全体が厳しく、市場が縮小傾向にある。地域が過当競争のため、更に厳しい状況が続く。
一般レストラン（店長）	・日曜・祝日の来客数が回復するとは思えない。客単価も下がってくる。
一般レストラン（店長）	・3～5月に掛けて繁忙期に入るのて売上は上がっていくが、季節的なものに過ぎず、景気としては悪いままである。
都市型ホテル（従業員）	・会議後に懇親会を実施していた会社や団体が、今後は会議のみになる見込みになり、更に出張費の削減を実施する企業などの情報が入ってきている。
都市型ホテル（スタッフ）	・歓送迎会も民間の企業の予約がさっぱりであり、回復の兆しが無い。
旅行代理店（営業担当）	・企業はかなり休業を実施しており、しばらくは旅行どころではない。
タクシー運転手	・良い材料が全くない。6か月後にはイベントがあり、これに期待しているが、3か月ではどうにもならない。
通信会社（企画担当）	・現時点では、当社のサービス拠点とする中小地方都市で、景気が良くなりそうな話題、環境条件はまず無い。マイナス要素しか伝わってこない。
通信会社（通信事業担当）	・新規加入などの元になる、ケーブルテレビ自体の加入が振るわない。解約が新規契約を上回る状況が続いている。
美容室（経営者）	・客の様子、来客数、客単価、どれをとっても良くなく、当分良くなる材料が見当たらない。
美容室（経営者）	・客の財布のひもは固くなっているようで、旅行・買物などの話は全く聞かず、これからますます控えられる。
設計事務所（経営者）	・建築に関連して景気が上向く要素が全く無い。年度末に向かって、地元の建設会社やデベロッパーが倒産しそうだとのうわさをよく耳にする。

		住宅販売会社（従業員）	・展示場に来場した客でさえ極端に購買反応が薄く、一旦契約しても収入減や雇用への不安から、やむなく解約の申し出が出てきている。		
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-		
		食料品製造業（総務担当）	・新製品の発売があり、販売はやや伸びていく。人間的にも少し不足が出そうなので、これから募集をかけることも考えている。		
		木材木製品製造業（経理担当）	・住宅取得への優遇措置による潜在需要の具現化、輸出型企業の在庫調整の進展、円安などがあればやや良くなる。		
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・願望もあるのだが、3か月先には自動車の方も増産に移り多少は良くなる。		
変わらない		鉄鋼業（総務担当）	・国内需要家の活動水準が低迷している状況が継続する。		
		鉄鋼業（総務担当）	・在庫調整が4～6月に終了することを期待するが、大きく販売が上向くことは望み薄と考える。政府の大きな財政出動に期待する。		
		電気機械器具製造業（広報担当）	・受注が回復する兆候が見受けられない。		
		電気機械器具製造業（総務担当）	・特に自動車関連の受注減少は続くと思われるが、在庫の減少も進むものと思われ、3か月先の受注計画は、上向きのもので出ている。		
		輸送業（運送担当）	・これだけ長い間景気低迷が続くと、かなりの起爆剤が無いと回復は見込めない。		
				食料品製造業（業務担当）	・価格競争が激しくなり、値上げしたのも値下げしなければならぬ。会社間の体力勝負となる。
やや悪くなる		化学工業（総務担当）	・自動車や家電等川下の産業の生産が激しく落ち込んでいるので、素材産業への影響が更に出てくる。		
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・大型工事事案件も最終段階であり、他の工事事案件の引き合いもほとんどなく、生産量が激減する。		
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	・国内、海外共に市場の冷え込みは今後も続く見通しであり、回復の兆しは全く見られない。		
		建設業（経営者）	・付き合いのある製造業関連の企業において、仕事量が減ったことから徐々に従業員を減らしており、そのため当社が経営しているアパートについても空き室が目立つようになってきている。まだまだ厳しい状況が続く。		
		通信業（営業企画担当）	・顧客の来年度の設備投資計画がこの時期には、毎年見えてくるのだが、設備投資よりも削減方針が先行しており、新規獲得案件が減り、減収案件が増加する。		
		金融業（営業担当）	・郊外型の大型ショッピングセンターから、4月以降、花屋、眼鏡屋、薬屋、ゲームセンターなどが相次いで撤退し、核テナントは残るものの集客力が落ちるため、地域経済に影響が出ることはまぬがれない。		
		金融業（業界情報担当）	・世界的な景気悪化は当分の間続くと見られ、受注は前年比で大幅な減少が続くことが不可避である。		
		悪くなる		繊維工業（統括担当）	・そろそろ底を打ってもらいたいが、周囲の状況や報道を見る限り、良くならない。
				化学工業（総務担当）	・取引先の在庫調整がどうなるかわからない。
				金属製品製造業（総務担当）	・既存得意先からの受注が前年比55%減と激減しており、この先数か月で今より良くなる見通しは無い。そのため、新規開拓を行っているが、訪問先が帰休実施や内製化をしており、受注見込みのある取引先を見つけることも難しい。
輸送用機械器具製造業（経理担当）	・輸出減により売上が減少しており、アメリカ発の金融危機により世界全体の消費が萎縮しているため、更に悪くなる。				
輸送用機械器具製造業（総務担当）	・今後も船舶工事の中止や先送りがあり、資材価格は高止まったままであることが予想され、今後の見通しが立たない。				
その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	・売上減から在庫増となり、更に生産調整及び価格低下に繋がる現象が、更に顕著になってくる。				
輸送業（統括）	・既存顧客の4月以降の提案事項が、ほとんど保留状態になった。				
通信業（部門長）	・景気浮上の要因が無い場合、新年度に向けて積極提案している案件についても、顧客の動きは様子見の状況である。				
会計事務所（職員）	・製造業関連の受注が全くといって無い現状では、この景気の悪さは当分続く。				
雇用 関連	良くなる やや良くなる	-	-		
		求人情報誌製作会社（支店長）	・各メーカーの在庫調整が一段落付き、増産になれば、今よりは雇用は多少回復する。		
	変わらない	人材派遣会社（担当者）	・どの企業も一気に低迷したため、悪い状態が当分続く。		

	求人情報誌製作会社 (担当者)	・エントリーしてくる求職者数が安定しているため、企業側からは積極的にアプローチしなくても良いという判断が働いている。ただし、自動車関連等マスコミで騒がれている業種は、求職者が敬遠する傾向や、大学主催のガイダンスの動員が芳しくない状況もあるため、追加的な対策を要する企業が増える可能性がある。
やや悪くなる	人材派遣会社(営業担当)	・3月末の年度変わりのタイミングで、派遣契約の打ち切りを検討中の企業が多い。派遣終了数は恐らく3月に最も多くなるだろうが、その後しばらくは横ばい状態が続く。
	職業安定所(職員)	・企業の担当者が景気の底が見えず、4月以降の予測が立たない状況のなか、3月末で解雇予告を受けている求職者も散見され、今後失業者も増加する。
	職業安定所(雇用開発担当)	・雇用調整助成金の計画届内容から判断すると、計画届提出企業の雇用調整規模は過去の例と比較して格段に大きく、中・小・零細企業にとって、体力的に相当厳しい環境である。
	学校[短期大学](就職担当)	・前年までは企業からこの時期に至急の求人があったが、本年度は秋以降非常に少なくなっている。
悪くなる	職業安定所(職員)	・ほとんどの業種で、受注量及び業務量が前年に遠く及ばず、人件費削減の具体的方法を考えなければならない状況となっている。また、世界的な景気の悪化に起因する減収減益は避けられず、雇用については現状維持が精一杯で、欠員補充を含め新たに採用する環境ではないとする声が、多数の事業主から聞かれる。
	職業安定所(職員)	・大企業の一時休業が実施され、関連企業もこれに伴って休業し、これからも相当な期間にわたって繰り返される。
	民間職業紹介機関(職員)	・地元製造業からの求人登録が激減しており、地場基幹産業である自動車関連は皆無に等しい。
	民間職業紹介機関(職員)	・中途採用で正社員の求人はあっても、「費用対効果を考えると、採用基準を高くするしかない」と返事をする企業が多過ぎる。これからも安定雇用者はほとんど増えない。